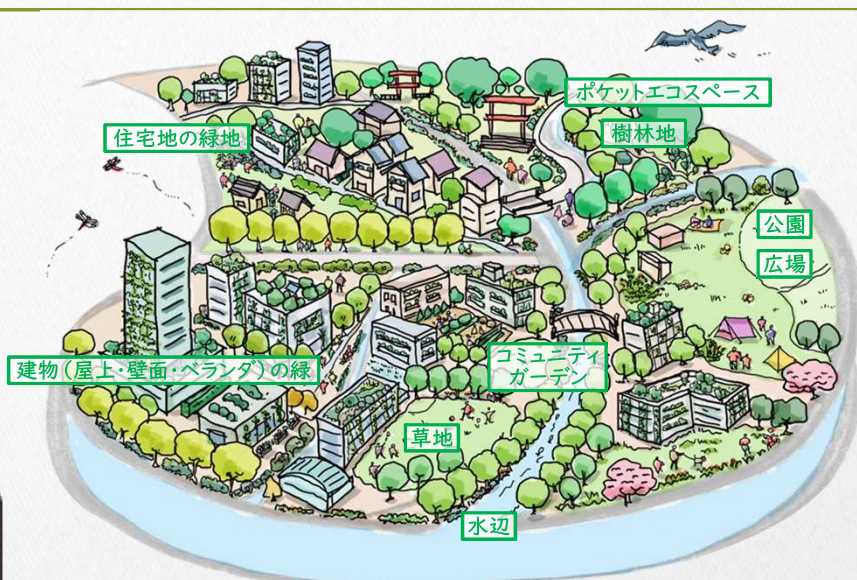


# 江東区生物多様性に 配慮した緑化ガイド

～生き物が増える「みどり」のネットワークづくり～



「みどり」のイメージ

都市には多様な生き物が生息していますが、生息・生育環境の減少・分断化により、「生態系」、「種」、「遺伝子」それぞれの多様性の低下が危惧されています。

江東区は、大規模な公園と海辺や河川・運河などの水辺、区内に展開されたポケットエコスペース、そして、区民・事業者が生み出すみどりで、生き物のすみかとなる環境を結び、生き物が移動できるみどりのネットワークを形成していきたいと考えています。

生き物の貴重な生息・生育環境を増やすため、敷地内の生物多様性に配慮した緑化にご協力をお願いします。



江東区観光キャラクター コトミちゃん



アサザ（亀高小学校内）  
準絶滅危惧  
（環境省レッドリスト）



マツムシ（荒川・砂町水辺公園内）  
絶滅危惧ⅠA類  
（環境省レッドリスト）



モズ（清澄庭園内）  
絶滅危惧Ⅱ類  
（東京都レッドデータブック）



江東区

# 生物多様性に配慮した緑化の流れ

## 計画地周辺の「みどり等の状況確認」

生き物の移動や生息・生育に配慮するため、現地調査等で周辺のみどりや生き物の種類などを把握してください。  
(2ページ参照)

## 誘致する生き物\*と植栽の検討

※ 計画地周辺に緑地が多い場合の目標種設定例  
・シュジュウカラ、コゲラ、モズなど  
(ここで上げた目標種はあくまでも参考です。  
「みどり等の状況確認」を踏まえ設定してください。)

誘致する生き物の目標種と目標種を誘致するために必要な植栽を検討してください。

その際、3ページに記載した表を参考に在来種も含めた植栽種の選定をお願いします。

なお、修景や防災など植栽の目的に応じた以下の植物を制限するわけではありません。

- ・栽培品種(園芸品種含む)  
(例)ソメイヨシノ、オオムラサキなど
- ・侵略的でない外来種  
(例)クスノキ、イチヨウなど

## 多階層構造の検討

多様な階層になるよう植栽を工夫してください。

多階層構造になると、例えば、高木層から低木層まで利用するコゲラ、草本層を利用するバッタなど様々な生き物の生息・生育が可能となります。

なお、池や水辺など湿性地を整備することで、多種多様な生き物が生息・生育できます。

## 維持管理の検討

維持管理をする上で、生物多様性に配慮した植栽の適切な管理(植栽目的・形態、樹種構成、近隣住民・利用者、病虫害)をお願いします。

また、生態系への影響が懸念される外来種の防除をお願いします。

なお、整備した緑地を積極的に情報発信し、活用することで、生物多様性の意義も広く伝わります。



図 多階層構造と生息・生育する生き物のイメージ

本ガイドは、「植栽時における在来種選定ガイドライン～生物多様性に配慮した植栽を目指して～」(東京都環境局)を参考に作成しています。

# 計画地周辺の「みどり等の状況確認」

建築計画地から半径500m程度にある公園や河川などの水辺、ポケットエコスペースなどを確認してください。

また、区のホームページに、「平成30年度江東区緑視率等調査報告書」が掲載されています。現況植生調査、鳥類や昆虫類の現況調査の結果も併せてご参照ください。

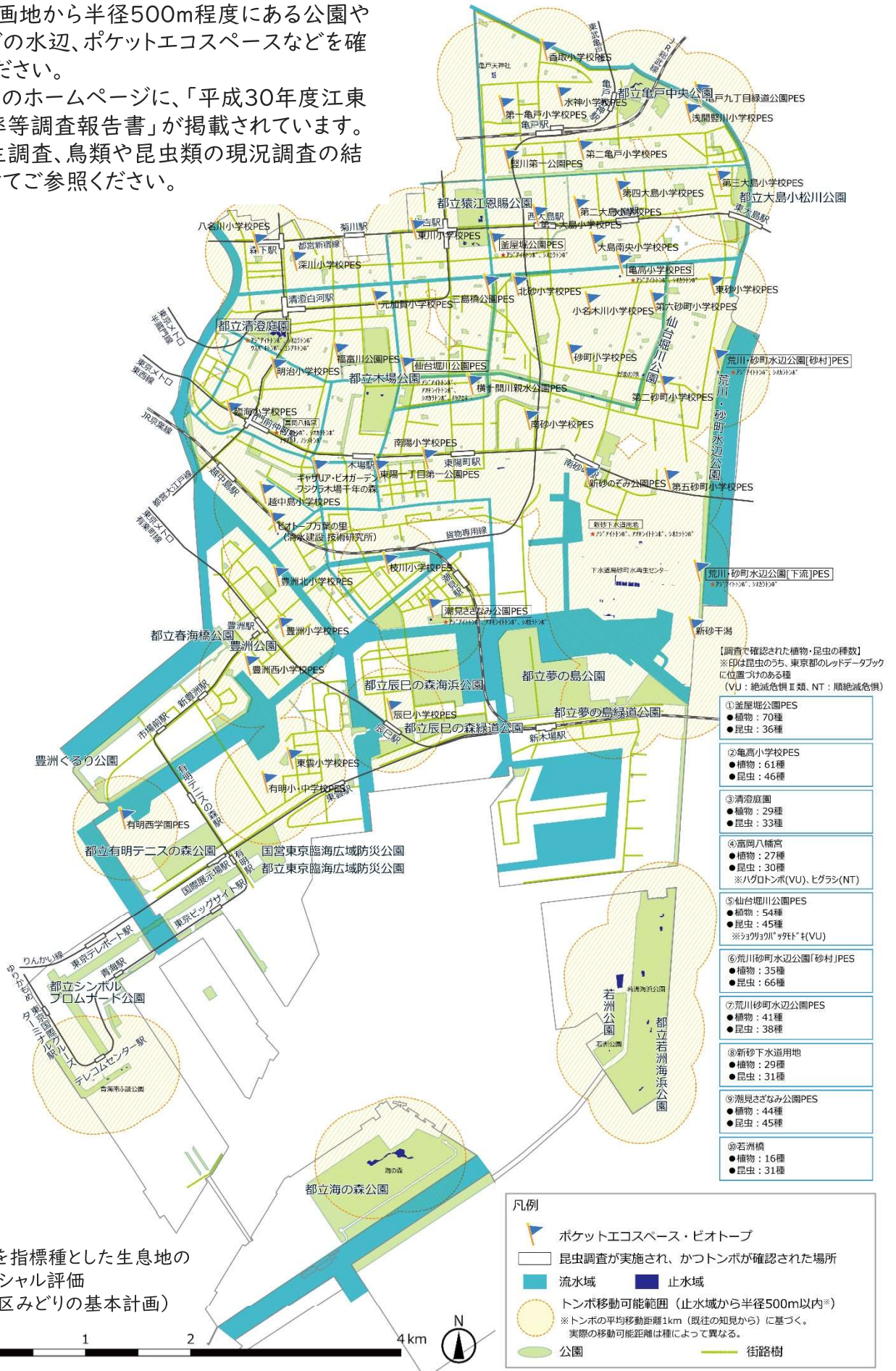


図 トンボを指標種とした生息地のポテンシャル評価(江東区みどりの基本計画)

## 植栽種（在来種）の検討

江東区は、東京湾沿いの沖積低地に位置し、潜在自然植生は「タブノキーイノデ群集」、代償植生は「ムクノキミズキ群落」です。植栽にあたっては、その中から在来種を検討してください。

その際、潜在自然植生のみ選定すると、多くが常緑広葉樹のため鬱そうとした状態になる可能性があります。雑木林など人為的な影響を受けて成立する代償植生と組み合わせることで、防犯にも生物多様性にも配慮した植栽計画となります。



生物多様性に配慮した緑地  
(フジクラ木場千年の森)

### 江東区の潜在自然植生の群集とその構成種の例

#### 潜在自然植生：タブノキーイノデ群集

高木層	タブノキ※
亜高木層	シロダモ※、ヤブニッケイ※
低木層	ネズミモチ※、ビナンカズラ、ヤツデ※、ヤブツバキ※
草本層	アイアスカイノデ、アスカイノデ、イノデ、キチジョウソウ※、キツタ、シケシダ、ベニシダ、ヤブラン※

### 江東区の代償植生の群落とその構成種の例

#### 代償植生：ムクノキミズキ群落

高木層	ウワミズザクラ、エノキ※、ミズキ※、ムクノキ※
亜高木層	イロハモミジ※、エゴノキ※、ムクノキ※
低木層	アケビ※、ネズミモチ※、ヒサカキ※、ビナンカズラ、マユミ※、ムラサキシキブ※
草本層	イヌワラビ、アマチャズル、キツタ、シケシダ、ジャノヒゲ※、ミズヒキ

- ・上記に示した在来種は一例です。
- ・選定にあたっては、「みどりの状況確認」の結果を踏まえてください。
- ・在来種を健全に生育するために、植栽基盤を十分確保するようにしてください。

※「江東区緑化計画の手引き」掲載種



## コラム

### 生物多様性に配慮した植栽計画・管理のポイント

ツバキを植えると蜜を目当てにメジロが飛来する可能性が高まりますが、密植するとチャドクガが発生しやすく、毒針で刺されると患部が腫れ、痛み、かゆみを伴うことがあるので、密植しない、人が歩いたり使ったりする動線から離しておくなど、きめ細やかな設計が大切です。

また、高木、中木、低木、地被植物を組み合わせ、多くの階層をつくることで、多様な生き物の生息・生育の場が生まれますが、近隣住民や利用者に対しても快適な場となるようにするためには、適切な維持管理が重要です。

なお、整備した緑地を、NPO等の活動場所として提供し、こどもも学べる生物多様性に関するプログラムを実施するなど、区民が生き物に触れられる機会を設ける事例もあります。

人と生き物の良好な関係を築いていけるように植栽計画・管理をお願いします。



スポーツと人情が熱いまち  
**江東区**

江東区土木部管理課  
東京都江東区東陽4-11-28  
TEL 03-3647-2079  
FAX 03-3647-8454